

もっと減らせる 生ごみ・紙ごみ・プラスチック類

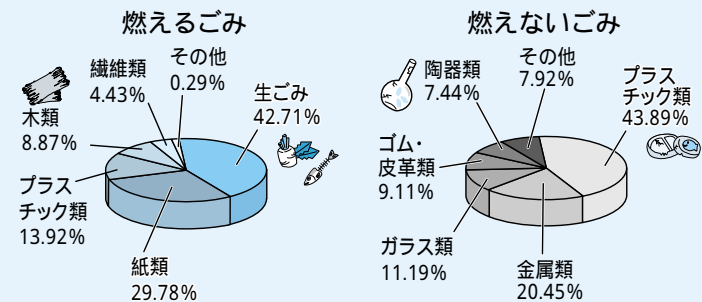
ごみの中身の探検隊

ごみ組成分析結果

皆様のご協力で、家庭ごみ指定収集袋制(有料化)を導入後1年で約15%のごみを減らすことができました。

しかし、ごみの中身には、まだ資源として再利用できるものが多く含まれています。資源物として出せば、もっとごみの量を減らすことができます。

市では、家庭からどんなごみが出されているのかを把握するため、組成分析を行っています。燃えるごみでは、台所から出る生ごみが一番多く、次に紙ごみが多くありました。

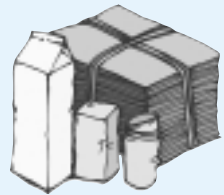


ごみを減らすためのポイント

1. 紙は資源物、リサイクルできます

紙は、リサイクルの優等生です。ごみとして燃やしてしまうには、もったいないため、資源物の回収日に出してください。

名刺などの小さなサイズの紙は、使い古しの封筒などに入れて出してください。



2. 集団回収を利用しましょう

市の資源回収のほかに、地域で活動する団体が古紙などの資源物を回収しています。集団回収は、市の資源回収とは別の日程で行われていますので、確認してください。



集団回収を行う団体には、回収量に応じて補助金を交付しています。

リサイクルの減量と推進に

ご協力ください

3. 生ごみは水を切って

生ごみを減らすには、調理時に野菜などを使い切ることや、食べ残さないことです。また、生ごみは十分に水を切ることで、約1割の減量効果があるといわれています。

4. 電動生ごみ処理機購入費助成

生ごみは、燃えるごみのうち42.7%と大半を占めています。市では、生ごみの減量に効果的な市販の電動生ごみ処理機を購入する費用の一部(1万円まで)を助成しています。

申請方法 環境課、平尾・若葉台出張所または市ホームページにある申請書で申請し、承認後購入してください。

生ごみ堆肥化容器や生ごみ減容器の購入費助成も行っています。

5. 発泡トレイ回収ボックス

発泡トレイと発泡スチロールもリサイクルできます。リサイクルするものは、不純物が混じると品質が劣化し、再製品化が困難になるので、分別のルールを守ってください。



弁当・カップめん、納豆などの特殊加工の容器は燃えるごみに出してください。

トレイは軽くすすぎ、発泡スチロールは割って小さくしてから、回収ボックスに出してください。

また、スーパーマーケットなどでも白色発泡トレイの回収を行っています。

6. マイバッグでノーレジ袋

買い物に行く時は、マイバッグや風呂敷を常に持参し、レジ袋を断りましょう。



7. 剪定枝チップ化事業

市では家庭から出る剪定枝を集め、堆肥などに利用しています。

3月3日(金)から7日(火)午前中までに市役所来庁者第二駐車場に剪定枝をお持ちください。



ごみ減量のキーワード 4Rの推進

21世紀にふさわしい循環型社会を形成していくためには、ライフスタイルの見直しを図ることが必要です。「大量生産・大量消費・大量廃棄」のシステムを「適量生産・適量消費・少量廃棄」に移行することが循環型社会の基本になります。日常の生活の中で、自分は何ができるかを考え、できることから始めましょう。

家庭でも「4つのR」を実践することで、ごみの減量ができます。

Refuse(発生拒否) マイバッグを持参して、レジ袋を断る。

Reduce(発生抑制) 買い過ぎや作り過ぎに注意する。

Reuse(再使用) 使い捨て商品避け、繰り返し使用する。

Recycle(再利用) ごみと資源物の分別を徹底し、店頭回収も利用する。

市民の方の取り組みを紹介します

稲城第四小学校6年生

生ごみ処理機を使って堆肥づくり

稲城第四小学校では、学校教育の一環として、生ごみ処理機を利用しています。

給食の残飯が出ると、当番である6年生が集まった物をざるに入れて水分を取り除き、処理機に投入し、機械を作動させます。生ごみ処理機は、熱と攪拌を加えることで、残飯の堆肥化を促進します。生成物の堆肥は、学校の花壇にまいたり、学校行事の際に来校者に配布したりして活用しています。



当番は、卒業前の2月に6年生から5年生に引き継がれます。はじめのうちは、残飯を扱うことを嫌っていた子どもたちも、引き継ぐ頃には、リサイクルをすることの重要性を自覚するようになりました。

知っていますか リサイクル石けん「いなぎっ粉」

稲城市リサイクルショップ
リサイクルショップでは、石けん製造機を使ってリサイクル石けん「いなぎっ粉」を製造しています。

原料は廃食用油で、家庭で使い古した油を収集(有料)し、良質の粉石けんを製造します。また、市内の中学校などで行われている職場体験学習でも、リサイクルショップでは積極的に受け入れ、リサイクル石けんづくりを体験してもらっています。



1日分がひとつかみに 電動生ごみ処理機を使って

向陽台在住の さん

電気温風乾燥式の生ごみ処理機を2年前から実家で使っています。とても良いと思っていたので、稲城市でも助成金が出るのを知って、すぐに購入しました。

夜にタイマーをセットしておく、野菜くずや生ごみがカラカラに乾いて、1日分がひとつかみほかに減っています。

集合住宅ですが、臭いもほとんどないので、室内に置いておくことができます。まとまったら菜園の肥料にしています。

リサイクルできるものは分別して出すので、燃えるごみは特小袋で十分です。



古紙が里帰り トイレトーパー「稲城っ子」

資源物として収集した古紙類は、静岡県富士市の製紙工場場で再生され、トイレトーパーとして里帰りし、販売しています(1パック360円)



トイレトーパー「稲城っ子」販売協力店

地区	店名	電話番号
東長沼	丘の上薬局	378-3388
	コンビニエンスストアぎるや	377-6043
	加藤精米店	377-6020
	東京南農協稲城支店	377-6002
	市民レストラン梨の木売店(市役所地下)	378-1814
	リサイクルショップ	379-5374
大丸	三和堂薬局	377-6130
	竹村屋米店	377-7122
	川正治商店	377-4355
	三崎薬局	377-7540
	丸栄	377-9307
坂浜	福島屋	331-3710
平尾	東京南農協平尾支店	331-1188
押立	押立ドラッグ	378-0841
	マルヤマ商店	377-3848
向陽台	向陽台薬局	378-4193

24年の歴史 平尾住宅自治会生活部の取り組み

平尾住宅自治会生活部では、廃食用油で石けんを作っています。平尾団地34号棟集会所のベランダが作業場所で、一斗缶に廃油を入れ一日おきに攪拌棒でかき混ぜ、1カ月かけて作っています。自治会が廃油リサイクルに取り組み出したきっかけは、24年前に排水管の油汚れと河川の水質汚染を防止するため、平尾地区で廃油の回収を始めたことからでした。その後、回収するだけでは廃油による石けんづくりに取り組んでい

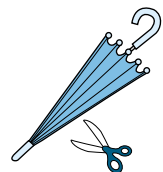


ます。手作りリサイクル石けん「ガンコな汚れに 廃油せっけん 輝き」は、水が汚れない環境にやさしいもので、1袋40円(300g)で販売しています。

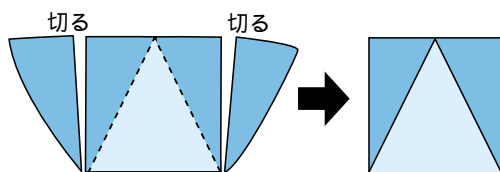
傘の布から買い物袋

不用になった傘を使って、オリジナルマイバッグを作ってみませんか

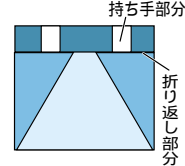
用意するもの 傘(布製)1本、持ち手用のひも2本、はさみ、針、糸



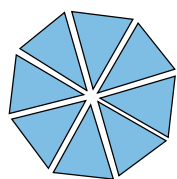
3枚を縫い合わせ、長方形に切る。(2枚作る)



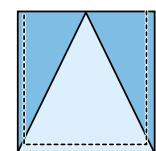
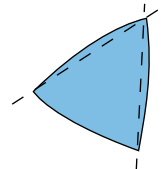
口の部分を3cm程度で三つ折りにし、両端を縫い合わせ、両端から7cm程度のところに持ち手をつける。



傘から布をはがし、8枚に切り離す。



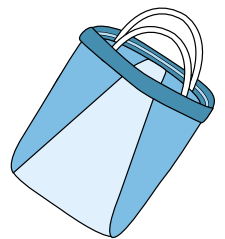
カーブした部分をまっすぐ



中おもてに2枚合わせて、コの字型に縫う。

表面に返し、アイロンをかけて整える。

オリジナルマイバッグの完成です。買い物はノーレジ袋!



稲城市リサイクルショップの「傘からマイバッグ講習会」で作っています。